

各 位

上場会社名 トミタ電機株式会社
 代表者氏名 代表取締役社長 神谷 哲郎
 (コード番号 6898)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 太田 寛
 (TEL 0857-22-8441)

業績予想の修正及び特別損失・特別利益等の計上に関するお知らせ

当社は、平成23年9月6日開催の取締役会において、平成23年6月6日の第1四半期決算発表時に公表した平成24年1月期第2四半期の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。また、平成24年1月期第2四半期連結累計期間において、特別損失・特別利益等を計上する見込みとなりましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正について

(1) 平成24年1月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年2月1日～平成23年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	842	52	21	21	3.21
今回修正予想(B)	797	54	36	28	4.27
増減額(B-A)	44	2	14	6	
増減率(%)	5.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年1月期第2四半期)	816	122	109	179	27.24

(2) 修正の理由

第2四半期累計期間における連結業績は、国内売上としては若干の減少となりましたが、海外では中国国内販売は順調に推移したものの、輸出向けの受注が減少するとともに、大幅な円高により日本円換算では大きく目減りし、売上全体としては予想より5.3%減の7億9千7百万円となる見込みです。

損益面では、国内では経費削減の効果はあったものの、中国での人件費及び物価高騰による経費の増加により営業損失は増加し予想より4.0%増の5千4百万円の損失、経常損失は予想より66.2%増の3千6百万円の損失、四半期純損失は予想より32.9%増の2千8百万円の損失となる見込みです。

(3) 平成24年1月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年2月1日～平成23年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	774	14	20	17	2.67
今回修正予想(B)	732	6	26	34	5.15
増減額(B-A)	42	21	6	16	
増減率(%)	5.5	—	30.0	93.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年1月期第2四半期)	783	59	39	115	17.55

(4) 修正の理由

第2四半期累計期間における個別業績は、国内売上としては若干の減少となりましたが、海外では中国国内販売は順調に推移したものの、輸出向けの受注が減少するとともに、大幅な円高により日本円換算では大きく目減りし、売上全体としては予想より5.5%減の7億3千2百万円となる見込みです。

損益面では、人件費・経費の削減効果により6百万円の営業利益(予想では14百万円の損失)、2千6百万円の経常利益(予想より30.0%増)、3千4百万円の四半期純利益(予想より93.2%増)となる見込みです。

(5) 平成24年1月期通期業績予想数値の修正について

平成24年1月期通期業績予想数値につきましては、第2四半期累計期間における修正額は通期業績においては吸収されると判断いたしましたので、平成23年6月6日付「平成24年1月期 第1四半期決算短信(連結)」にて公表した業績予想を修正いたしません。なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

(注意事項)

上記に記載した予想は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 特別損失等の計上について

(1) 投資有価証券売却損について

平成24年1月期第2四半期連結累計期間において、当社が保有する外国投資信託の売却に伴い、投資有価証券売却損が発生したため、特別損失として投資有価証券売却損7百万円を計上することといたしました。

(2) その他の特別損失について

平成24年1月期第2四半期連結累計期間において、減損処理による投資有価証券評価損他5百万円を特別損失として計上することといたしました。

3. 特別利益の計上について

平成24年1月期第2四半期連結累計期間において、当社が保有する国内上場株式等の売却に伴い、投資有価証券売却益が発生したため、特別利益として投資有価証券売却益22百万円を計上することといたしました。

4. 営業外費用の計上について

平成24年1月期第2四半期連結累計期間において、急激な円高の進行による為替差損が発生したため、営業外費用として為替差損27百万円を計上することといたしました。

5. 営業外収益の計上について

平成24年1月期第2四半期連結累計期間において、当社が保有する外国債券の売却に伴い、投資有価証券売却益が発生したため、営業外収益として投資有価証券売却益6百万円を計上することといたしました。

以 上